

小諸新校	
選考の観点	<p>①校名は「長野県～高等学校」とする。</p> <p>②小諸商業高等学校と小諸高等学校の歴史や伝統を引き継ぎつつ、生徒たちが新たな学びに大きな希望を抱き、未来に向かって育っていくことができる学校像が表現されている。</p> <p>③「学科・教科横断型の学び」のできる普通科・商業科・音楽科が融合した学校として分かりやすい校名である。</p> <p>④「地域と連携した本物の学びに触れる」ことを進める学校として、地域の願いや期待が表出されている校名であること。</p>
選考方法	<p>校名選考にあたっては選考の進め方や方法、公募結果、選考結果を懇話会にて報告し、意見交換を行った上で実施する。</p> <p>〔一次選考〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募結果を参考に構成員による一次投票を行う。 ・公募及び一次投票の結果を参考に懇話会で校名案を3案程度にしぼる。 ・校名案の再検討を含め、構成員からの案を二次投票の対象に加える。 <p>〔最終選考〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次投票の対象となった校名案候補に対し、商標権等の調査を行う。 ・商標権等の調査結果を踏まえ、構成員による二次投票を行う。 ・商標権等の調査及び二次投票の結果を参考に懇話会で校名案候補を選考する。
須坂新校	
選考の観点	<p>①校名は「長野県〇〇〇高等学校」とする。</p> <p>【次の②～④のうち、1つ以上が含まれていること（すべて含めてもよい）】</p> <p>②新しい学校で、生徒が未来に向かって成長していけるという学校像が表現されている。</p> <p>③4つの学科の連携や「地域の人々と共に学び、共に未来を創る」という新校の理念が表現されている。</p> <p>④「地域を学びの場に成長し続ける高校」という学校の姿が表現されている。</p>
選考方法	<p>校名選考は4つのステップを経て進めていきます。</p> <p>①公募</p> <p>多くの皆様から広く校名を募集します。どなたでもご応募できます。特に須坂新校で学ぶ皆様（小学生や中学生）、その保護者の皆様からのご応募をお待ちしています。自分が通学するかもしれない高校の名前を、自分で考えてみませんか。（詳細については「9 応募の方法」をご覧ください）</p> <p>②一次選考</p> <p>応募された校名ついて、事務局で同名の名称の有無、商標権の確認等の校名案の整理を行い、その後懇話会の構成員による投票で、公募の中から校名候補を3～5案程度にしぼります。さらに懇話会構成員からの案を選考対</p>

	<p>象に加え、校名候補を5～7案程度とします。これにより、商標権等の関係で二次選考対象となる校名候補が減ってしまうことを防ぎます。</p> <p>③二次選考</p> <p>二次選考の対象となった校名候補に対して商標権等の調査をおこないます。その結果を踏まえて懇話会構成員による二次投票をおこない、2～3案程度、校名候補を選びます。さらに懇話会での意見交換で最終校名候補を選考します。</p> <p>④校名の決定</p> <p>懇話会での検討を踏まえ、県教育委員会で決定します。</p> <p>(注)あくまでも校名案の募集であり、最も多く投票があった校名が選ばれるものではありません。</p>
--	--



【中野総合学科新校 校名選考の流れ（案）】

○募集

「公募」とし、広く多くの皆さんから募集する。

小中学校に対してどのような広報（チラシ・配布範囲等）をするかについては、検討。

○一次選考

応募された校名ついて、事務局で同名の名称の有無、商標権の確認等の校名案の整理を行い、その後懇話会の構成員による投票で、公募の中から校名候補を3～5案程度にしぼる。さらに懇話会構成員からの案を加える。

○二次選考

二次選考の対象となった校名候補に対して商標権等の調査を行う。その結果を踏まえて懇話会構成員による二次投票を行い、2～3案程度、校名候補を選ぶ。さらに懇話会での意見交換で最終校名候補を選考する。

○校名の決定

懇話会での検討を踏まえ、県教育委員会で決定。

校名案の募集について、投票が多い校名案が選ばれるものではないことを周知徹底する。

中野総合学科新校 校名募集要項【概要】（案）

公募期間	1 か月
選考の観点	<p>①校名は「長野県 ～ 高等学校」とする。</p> <p>②中野立志館高等学校と中野西高等学校の歴史や伝統を引き継ぎつつ、生徒たちが新たな学びに大きな希望を抱き、未来に向かって育っていくことができる学校像が表現されている。</p> <p>③中野総合学科新校の学びのイメージである「中野立志館高等学校の総合学科と中野西高等学校のユネスコスクールの中心的な学びである ESD（持続可能な開発のための教育）」をベースに、地域との協働を図りながら、大学など上級学校への進学にも対応可能な柔軟なカリキュラムを備えた総合学科新校を目指すに相応しい校名であること。</p>
選考方法	<p>校名選考にあたっては、選考の進め方や方法、公募結果、選考結果を懇話会にて報告し、意見交換を行った上で実施する。</p> <p>〔一次選考〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募結果を参考に構成員による一次投票を行う。 ・公募及び一次投票の結果を参考に懇話会で校名案を 3 ～ 5 案程度にしぼる。 ・校名案の再検討を含め、構成員からの案を二次投票の対象に加える。 <p>〔二次選考〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次投票の対象となった校名案候補に対し、商標権等の調査を行う。 ・商標権等の調査結果を踏まえ、構成員による二次投票を行う。 ・商標権等の調査及び二次投票の結果を参考に懇話会で最終校名候補を選考する。 <p>〔校名の決定〕</p> <p>懇話会での検討を踏まえ、県教育委員会で決定。</p> <p>(注) あくまでも校名案の募集であり、最も多く投票があった校名が選ばれるものではない。</p>
公募方法	<p>①期間：令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日</p> <p>②内容：校名案と理由</p> <p>③方法：応募資格の制限はなく、郵便、FAX、電子メール、学校事務室への持参</p>